



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月26日

上場会社名 インフォコム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4348 URL <http://www.infocom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 教博  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 田中 新也 TEL 03-6866-3160  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年11月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 2018年3月期第2四半期決算説明会資料  
 四半期決算説明会開催の有無：有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	21,203	9.7	2,365	46.9	2,634	62.3	2,574	145.8
29年3月期第2四半期	19,336	3.2	1,610	33.8	1,623	30.0	1,047	—

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,899百万円 (285.0%) 29年3月期第2四半期 753百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	94.16	93.77
29年3月期第2四半期	38.32	38.18

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	34,204	26,190	76.2
29年3月期	32,620	23,665	72.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 26,048百万円 29年3月期 23,556百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	28.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

30年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 2円00銭

配当予想の修正については、本日(平成29年10月26日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	10.1	5,600	17.2	5,800	19.5	4,500	38.0	164.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年10月26日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	28,800,000株	29年3月期	28,800,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,453,013株	29年3月期	1,457,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	27,345,284株	29年3月期2Q	27,340,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当四半期決算説明会資料は、TDNetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、不安定な海外情勢の懸念があったものの、企業収益や所得環境の改善等により緩やかな回復基調で推移しました。

IT関連市場では、「働き方改革」の実現に向けたIT活用意識の高まり等を背景に、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末によるクラウドサービスの利用とともに、IoT、ビッグデータ、AI（人工知能）、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）等の活用が進展し、医療や介護の領域へのIT活用や電子書籍市場の成長が続いています。更には、企業内外の技術やアイデアを組み合わせる新たな価値を創造するオープンイノベーションの取り組みが拡大する等、新事業の創出が期待されています。

このような経営環境において、当社グループは中期経営計画（2017年4月～2020年3月）の基本方針である「成長の追求」と「成長を支える経営基盤の継続的強化」の下、中長期にわたる継続的な発展を目的に、電子コミックとヘルスケアを重点事業として、M&Aの積極的推進に加え、AIやIoTを活用したビジネス展開等に取り組んでいます。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高21,203百万円（前年同四半期比9.7%増）、営業利益2,365百万円（前年同四半期比46.9%増）、経常利益2,634百万円（前年同四半期比62.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,574百万円（前年同四半期比145.8%増）となりました。

なお、当社グループの業績は、企業や病院向けの製品・サービスの納期が年度末の3月に集中する傾向があるため、売上高、利益ともに第1・第3四半期が相対的に少なくなり第4四半期に集中する傾向を有しています。

セグメント別の業績は次のとおりです。

## ① ITサービス・セグメント

当第2四半期連結累計期間のITサービス・セグメントは、ヘルスケア事業を中心に順調に推移したため、データセンター関連ビジネスの撤退等による減収を吸収し、売上高は10,553百万円（前年同四半期比7.3%増）、営業利益630百万円（前年同四半期比73.0%増）となりました。

ヘルスケア事業は、既存の病院・製薬企業向けの製品・サービスの販売促進に加え、地域包括ケア領域における新たな展開を視野に「デジタルヘルスコネクト」のシニア向けビジネスのコンテストを開催しました。また、東京大学との共同研究によるストレスマネジメントサービスを開始しました。同事業では通期売上高目標の90億円を達成するため、病院・製薬企業向けのラインナップ拡充に加え、地域包括ケア領域における「介護丸ごとIT!」の取り組みやAI、IoTを使った新規ヘルスケアサービスの開発等に係る先行投資を強化しています。

企業向けのITサービスでは、「働き方改革」第1弾として統合業務ソフトウェアパッケージ「GRANDIT®」に連携する経費精算クラウドサービスの提供を開始しました。

また、遠隔医療や介護分野等への応用を目的に研究を進めているVR/ARの研究成果を展示会で発表しました。

## ② ネットビジネス・セグメント

当第2四半期連結累計期間のネットビジネス・セグメントは、電子コミック配信サービスが好調を継続し、売上高10,649百万円（前年同四半期比12.1%増）、営業利益1,729百万円（前年同四半期比38.9%増）となりました。

電子コミック配信サービスでは、「めちやコミック」のサイト運営にAIを活用した他、認知度維持向上を目的に全国主要都市圏でのテレビコマercialを前期に引き続き同時期に実施する等販売戦略を進めた結果、前年に比べ1ヶ月早く9月に売上高が100億円を超えて最高売上を更新しました。同サービスでは今後も通期売上高目標の210億円を達成するため、サービス内容の充実に努めます。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①連結財政状態

総資産は、有形固定資産の売却に伴う現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末と比較して1,584百万円増加し、34,204百万円となりました。負債は、賞与引当金及び事業再編損失引当金の減少等により、前連結会計年度末と比較して940百万円減少し、8,013百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末と比較して2,524百万円増加し、26,190百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の72.2%から76.2%に上昇しました。

## ②連結キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は16,180百万円となり、前連結会計年度末より3,772百万円増加しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主たる増減要因は以下のとおりです。

## 〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動によって得られた資金は2,390百万円（前年同四半期は999百万円）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益3,773百万円（前年同四半期は1,350百万円）及び売上債権の減少1,048百万円（前年同四半期は1,618百万円）等により増加し、固定資産売却益1,138百万円（前年同四半期は0百万円）、事業再編による支出346百万円（前年同四半期は648百万円）及び法人税等の支払1,006百万円（前年同四半期は1,142百万円）等により減少したものです。

## 〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動によって得られた資金は1,822百万円（前年同四半期は498百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入2,432百万円（前年同四半期は0百万円）等により増加し、ソフトウェア等無形固定資産の取得による支出375百万円（前年同四半期は432百万円）等により減少したものです。

## 〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動に使用した資金は437百万円（前年同四半期は635百万円）となりました。これは主に配当金の支払410百万円（前年同四半期は601百万円）によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想は、当第2四半期連結累計期間の業績及び最近の業績動向等を踏まえ、平成29年4月27日に公表した通期連結業績予想を上方修正しました。

詳細は、平成29年10月26日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,403	16,176
受取手形及び売掛金	8,784	7,735
たな卸資産	366	663
その他	2,180	1,634
貸倒引当金	△4	△0
流動資産合計	23,731	26,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,413	238
その他(純額)	1,161	691
有形固定資産合計	2,575	929
無形固定資産		
ソフトウェア	2,045	2,001
のれん	8	2
その他	45	43
無形固定資産合計	2,099	2,047
投資その他の資産		
投資その他の資産	4,305	5,108
貸倒引当金	△34	△34
投資損失引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	4,214	5,017
固定資産合計	8,889	7,994
資産合計	32,620	34,204
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,062	3,076
未払法人税等	908	689
賞与引当金	1,176	900
事業再編損失引当金	423	—
その他の引当金	18	1
その他	3,046	2,877
流動負債合計	8,636	7,545
固定負債		
その他	318	468
固定負債合計	318	468
負債合計	8,954	8,013
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,448	1,449
利益剰余金	21,132	23,297
自己株式	△819	△816
株主資本合計	23,351	25,519
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198	572
繰延ヘッジ損益	△0	0
為替換算調整勘定	5	△44
その他の包括利益累計額合計	204	529
新株予約権	98	129
非支配株主持分	11	11
純資産合計	23,665	26,190
負債純資産合計	32,620	34,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,336	21,203
売上原価	10,317	11,134
売上総利益	9,018	10,069
販売費及び一般管理費	7,408	7,703
営業利益	1,610	2,365
営業外収益		
受取利息及び配当金	35	48
持分法による投資利益	2	5
為替差益	—	0
パートナーシップ利益	—	214
その他	2	1
営業外収益合計	40	269
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	20	—
パートナーシップ損失	5	—
その他	0	0
営業外費用合計	27	0
経常利益	1,623	2,634
特別利益		
固定資産売却益	0	1,138
移転補償金	15	—
その他	—	51
特別利益合計	15	1,189
特別損失		
減損損失	4	2
投資有価証券評価損	—	39
子会社株式売却損	273	—
その他	10	7
特別損失合計	288	50
税金等調整前四半期純利益	1,350	3,773
法人税等	300	1,199
四半期純利益	1,049	2,574
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,047	2,574

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,049	2,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△104	373
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	△191	△50
その他の包括利益合計	△296	324
四半期包括利益	753	2,899
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	753	2,900
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,350	3,773
減価償却費	490	564
減損損失	4	2
株式報酬費用	27	34
のれん償却額	7	5
引当金の増減額(△は減少)	△185	△296
受取利息及び受取配当金	△35	△48
支払利息	0	0
固定資産売却損益(△は益)	△0	△1,138
売上債権の増減額(△は増加)	1,618	1,048
たな卸資産の増減額(△は増加)	△369	△298
仕入債務の増減額(△は減少)	△315	3
その他	163	△224
小計	2,757	3,427
利息及び配当金の受取額	33	45
利息の支払額	△0	△0
事業再編による支出	△648	△346
法人税等の支払額	△1,142	△1,006
法人税等の還付額	—	270
営業活動によるキャッシュ・フロー	999	2,390
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△195	△117
無形固定資産の取得による支出	△432	△375
有形固定資産の売却による収入	0	2,432
有形固定資産の売却に係る手付金収入	282	—
投資有価証券の取得による支出	△157	△129
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	4	—
差入保証金の差入による支出	△3	△0
差入保証金の回収による収入	2	8
その他	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△498	1,822
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△35	△29
配当金の支払額	△601	△410
非支配株主からの払込みによる収入	1	1
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△635	△437
現金及び現金同等物に係る換算差額	△37	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172	3,772
現金及び現金同等物の期首残高	11,943	12,408
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,771	16,180

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I Tサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	9,834	9,502	19,336	—	19,336
セグメント間の内部売上高 又は振替高	336	1	338	△338	—
計	10,171	9,503	19,674	△338	19,336
セグメント利益	364	1,245	1,610	△0	1,610

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	I Tサービス	ネットビジネス			
売上高					
外部顧客への売上高	10,553	10,649	21,203	—	21,203
セグメント間の内部売上高 又は振替高	295	0	296	△296	—
計	10,849	10,650	21,500	△296	21,203
セグメント利益	630	1,729	2,360	4	2,365

(注) 1. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。